



# 2023年9月期第3四半期 決算補足説明資料

2023年8月23日



## 決算サマリ

### 想定通り

3Q決算は前年比62%営業減益ながら、通期見通しに対しては約6割の進捗率とややピッチは遅いが想定内

### 従来想定据置

需要拡大のピッチは緩やかで通期で16%営業減益の見通しだが、4Qは3Qと比較して利益増の見込

### メディカルトータルソリューション

新增改築案件売上は受注端境期から調整の見通しだが、IT展開イニシアティブ領域の売上は事業開始後最大を記録

### 注力エリア

新增改築案件は近畿・中部を中心に展開も、今後は市場の規模に比して受注数が限定的な関東エリアに注力



1

## 2023年9月期3Q決算実績



## 2023年9月期3Q経営成績①

- 対前年では34%減収、62%の営業減益。前下半期からの大規模案件端境期という状況に変化はなし。期初に立てた通期見通しに対しては約6割の進捗率。ややピッチは遅いが、想定範囲内との見方を継続
- セグメント別には、主力のメディカルトータルソリューション事業で端境期の影響から減収減益。一方、遠隔画像診断サービス事業や給食事業は堅調に推移し、営業利益は通期見通しに対して8割を超える進捗率

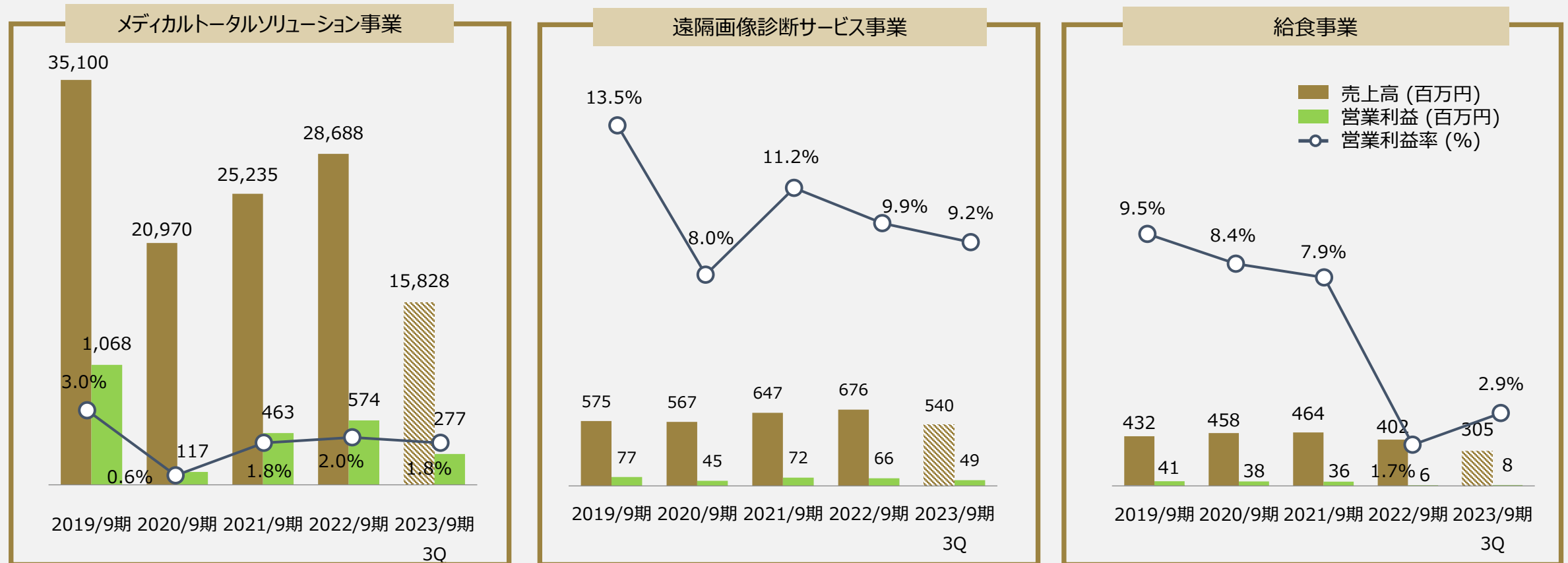
### 経営成績の推移

(百万円)	2021/9期 3Q実績	2022/9期 3Q実績	2023/9期3Q		2023/9期通期	
			実績	前年同期比 増減率	予想	進捗率
<b>売上高</b>	<b>21,472</b>	<b>25,195</b>	<b>16,674</b>	<b>▲33.8%</b>	<b>25,000</b>	<b>66.7%</b>
メディカルトータルソリューション	20,637	24,394	15,828	▲35.1%	24,000	65.9%
遠隔画像診断サービス	482	503	540	+7.4%	600	90.0%
給食	351	297	305	+2.7%	400	76.3%
<b>営業利益</b>	<b>785</b>	<b>886</b>	<b>337</b>	<b>▲61.9%</b>	<b>550</b>	<b>61.3%</b>
メディカルトータルソリューション	691	822	277	▲66.3%	480	57.7%
遠隔画像診断サービス	62	56	49	▲12.5%	60	82.7%
給食	29	5	8	+69.0%	10	88.2%
調整	2	2	1	▲19.8%	0	-
<b>経常利益</b>	<b>800</b>	<b>940</b>	<b>328</b>	<b>▲65.0%</b>	<b>550</b>	<b>59.7%</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>540</b>	<b>625</b>	<b>195</b>	<b>▲68.8%</b>	<b>360</b>	<b>54.2%</b>

# セグメント別業績推移

- 主力のメディカルトータルソリューション事業は売上端境期ながら、利益率は好調時の水準を維持。収益重視の営業強化が奏功
- 遠隔画像診断サービス事業は堅調継続。読影委託費上昇あるも、人件費の圧縮などで吸収
- 給食事業はようやく反転。物流・食材費値上げの影響は懸念材料ながら、地道な営業活動による新規受注が貢献し利益率改善

## セグメント別経営成績の推移





## 2023年9月期3Q経営成績②

- 3Q会計期間のみでも前年比ではまだ減収減益が継続。営業利益率も売上減少の影響は営業努力ではカバーできず、1.5%に低下
- セグメント別には、主力のメディカルトータルソリューション事業は厳しい状況が継続。閑散期のボトムは過ぎたとの認識に変更はないものの、大規模案件の発現にはまだ時間が必要。一方、遠隔画像診断サービス事業、給食事業もボトムアウト傾向がより鮮明に

### 経営成績の推移

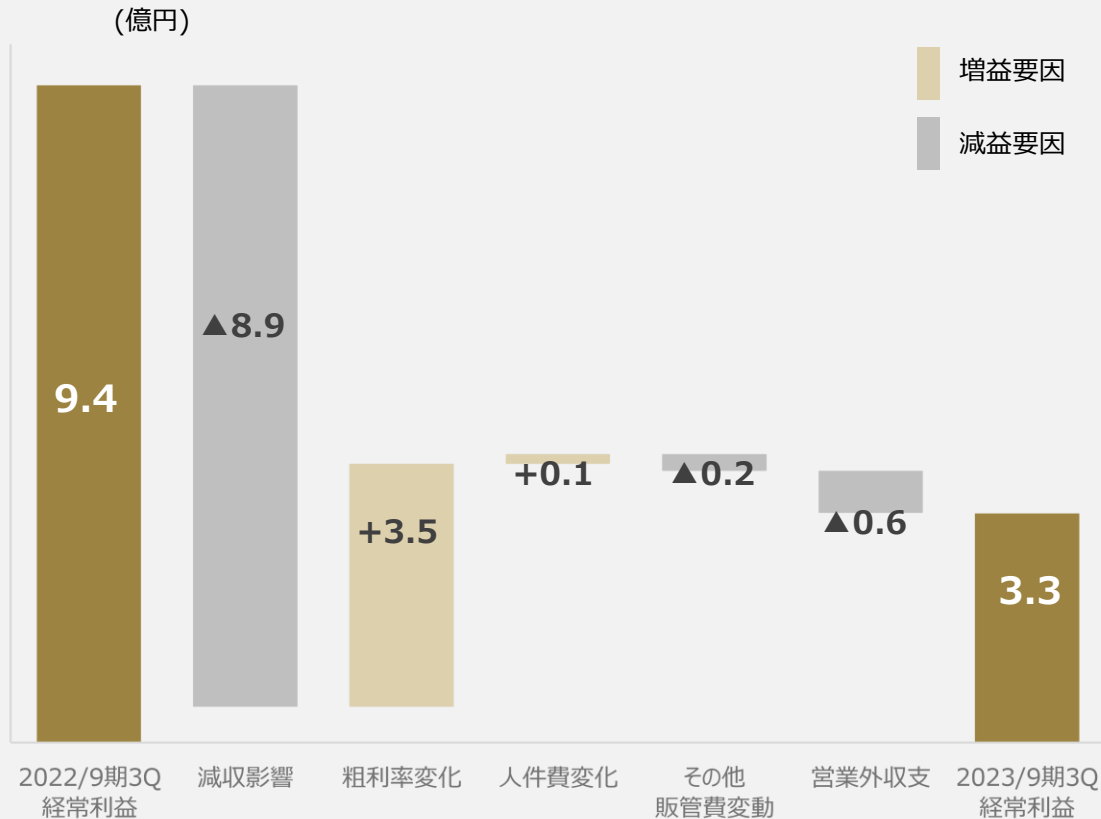
(百万円)	2021/9期				2022/9期				2023/9期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	7,971	8,907	4,593	4,875	10,678	8,078	6,438	4,571	4,936	6,725	5,012
メディカルトータルソリューション	7,691	8,624	4,321	4,598	10,404	7,821	6,169	4,293	4,650	6,444	4,733
遠隔画像診断サービス	162	164	155	164	172	159	171	173	180	181	178
給食	117	118	116	112	100	98	98	105	105	99	100
営業利益	405	445	▲64	▲209	529	241	114	▲235	▲11	274	74
メディカルトータルソリューション	370	410	▲89	▲228	499	226	97	▲247	▲34	253	58
遠隔画像診断サービス	23	21	16	10	26	14	15	10	20	18	11
給食	9	12	7	6	2	1	1	1	1	2	4
調整	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
営業利益率	5.1%	5.0%	▲1.4%	▲4.3%	5.0%	3.0%	1.8%	▲5.1%	▲0.2%	4.1%	1.5%



## 2023年9月期3Q 経常利益増減益要因分析

- 3Q累計経常利益の前年比較では、案件端境期に伴う減収影響が引続き収益を圧迫。営業活動の活発化に伴うコスト増も加わり、前期計上の一部低採算案件の影響消失や営業強化による利益率引上げ効果は着実に寄与したものの、マイナス影響は吸収できず
- 営業外収支では、前期計上の保険解約返戻金の消失に加え、コミットメントライン設定手数料を計上。前年比減益要因として影響

### 経常利益増減益分析



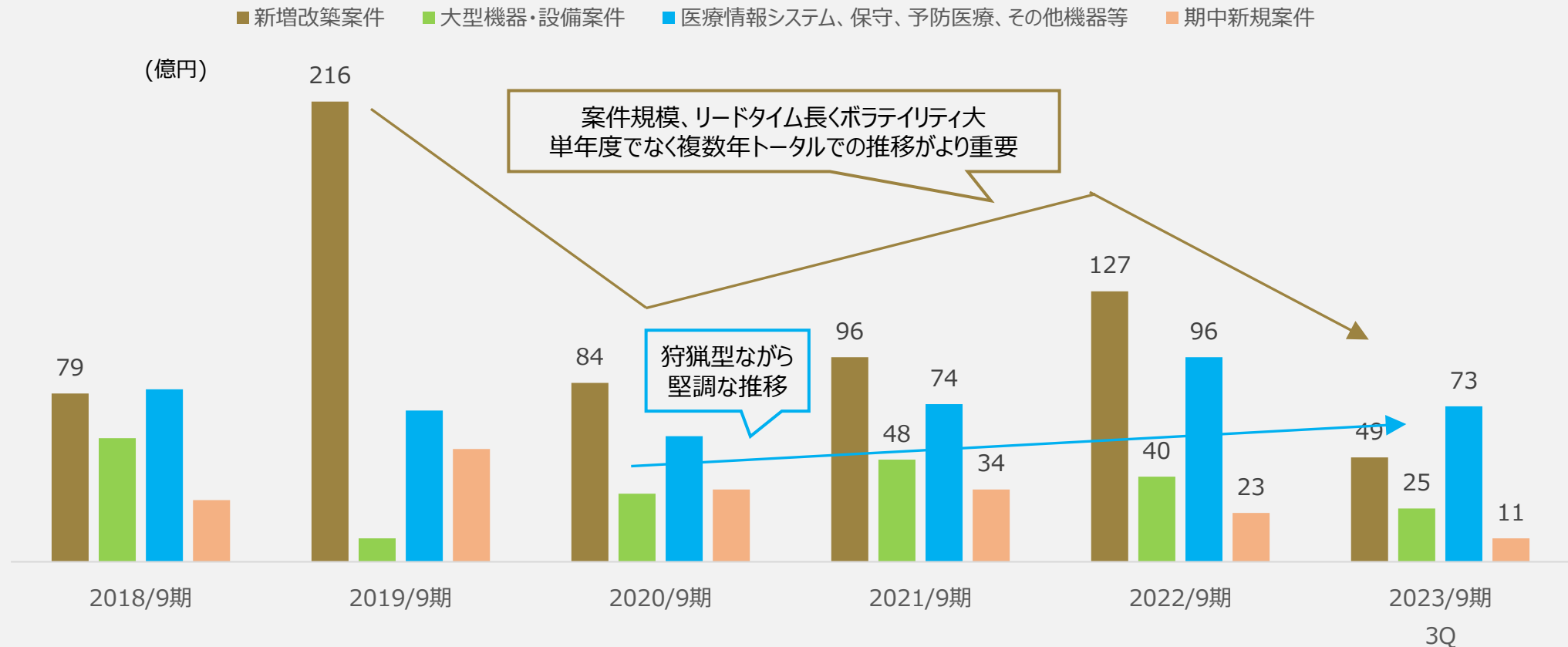
- 減収影響 ▲8.9億円
  - ・メディカルトータルソリューション事業で需要端境期
  - ・3Qには10億円以上の大型新增改築案件の計上始まるも、小型案件の積上げが低調に推移
- 粗利率変化 +3.5億円
  - ・前年計上した一部低採算案件の影響が消失
  - ・大型案件減少の中、利益率を意識した営業を強化
  - ・その他の案件においても粗利率は改善
- 人件費 +0.1億円
  - ・役員関連人件費減少 +0.2億円
- その他販管費変動 ▲0.2億円
  - ・業務委託/支払手数料 ▲0.3億円
  - ・交際費/交通費 ▲0.2億円
- 営業外収支 ▲0.6億円
  - ・保険解約返戻金収入消失 ▲0.5億円
  - ・コミットメントライン設定手数料 ▲0.2億円



# メディカルトータルソリューション事業売上内訳推移

- メディカルトータルソリューション事業の売上は、3Q累計でもシステム・保守・予防医療などの注力領域が事業売上のほぼ5割を稼ぎ出す展開継続。ポラティリティの高い新增改築案件に次ぐ第二の柱として地歩固める
- 一方、狩猟型ビジネスの中心を成す新增改築案件は、低水準ながら大型案件が売上に立ち始めた。加速感はまだないものの、端境期のボトム越えを確認

## メディカルトータルソリューション事業売上内訳







## 2023年9月期3Q 貸借対照表

- 前期末比較では大きな変化はないとの認識。売上債権は回収進み減少となるも、同時に買入債務/未払金等の解消進展でほぼ相殺
- 3Q末のネットキャッシュは56億円、自己資本比率は41.4%。盤石な財務基盤を成長加速に向けて積極的に活用すべく、方策を検討

### 財政状態の推移

(百万円)	2020/9期	2021/9期	2022/9期	2023/9期3Q	前期末比差異
<b>流動資産</b>	<b>12,198</b>	<b>11,755</b>	<b>12,232</b>	<b>12,091</b>	<b>▲140</b>
現預金	4,450	5,408	5,480	5,717	+236
受取手形・売掛金/契約資産	6,652	4,820	4,360	3,800	▲559
棚卸資産	60	188	24	57	+33
その他	1,034	1,337	2,368	2,516	+148
貸倒引当金	▲0	▲0	▲0	▲0	+0
<b>固定資産</b>	<b>1,215</b>	<b>1,209</b>	<b>1,235</b>	<b>1,176</b>	<b>▲58</b>
<b>総資産</b>	<b>13,414</b>	<b>12,964</b>	<b>13,468</b>	<b>13,268</b>	<b>▲199</b>
<b>負債</b>	<b>8,596</b>	<b>7,805</b>	<b>7,930</b>	<b>7,619</b>	<b>▲310</b>
買掛金	6,282	4,890	3,960	3,847	▲112
有利子負債	338	127	92	83	▲8
その他	1,975	2,788	3,876	3,687	▲188
<b>純資産</b>	<b>4,817</b>	<b>5,159</b>	<b>5,537</b>	<b>5,648</b>	<b>+111</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>13,414</b>	<b>12,964</b>	<b>13,468</b>	<b>13,268</b>	<b>▲199</b>



2

## 2023年9月期通期決算見通し



## 2023年9月期業績見通し

- 2023/9期通期の見通しは従来想定を据置き。3Q累計の通期進捗率はおよそ6割ながら、ほぼ想定通りの進捗ピッチと認識
- 前期比では3期ぶりの減収減益の想定。受注端境期を迎えたメディカルトータルソリューション事業が調整局面となる見通し

### 経営成績の推移

(百万円)	2020/9期 実績	2021/9期 実績	2022/9期 実績	2023/9期 見通し	比較	
					前年比 増減率	前年比 差異
<b>売上高</b>	<b>21,996</b>	<b>26,347</b>	<b>29,767</b>	<b>25,000</b>	<b>▲16.0%</b>	<b>▲4,767</b>
メディカルトータルソリューション	20,970	25,235	28,688	24,000	▲16.3%	▲4,688
遠隔画像診断サービス	567	647	676	600	▲11.2%	▲76
給食	458	464	402	400	▲0.5%	▲2
<b>営業利益</b>	<b>204</b>	<b>576</b>	<b>650</b>	<b>550</b>	<b>▲15.5%</b>	<b>▲100</b>
メディカルトータルソリューション	117	463	574	480	▲16.3%	▲94
遠隔画像診断サービス	45	72	66	60	▲9.0%	▲6
給食	38	36	6	10	+66.6%	+4
調整	3	3	2	0	-	▲2
<b>経常利益</b>	<b>207</b>	<b>595</b>	<b>709</b>	<b>550</b>	<b>▲22.5%</b>	<b>▲159</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>120</b>	<b>390</b>	<b>437</b>	<b>360</b>	<b>▲17.6%</b>	<b>▲77</b>

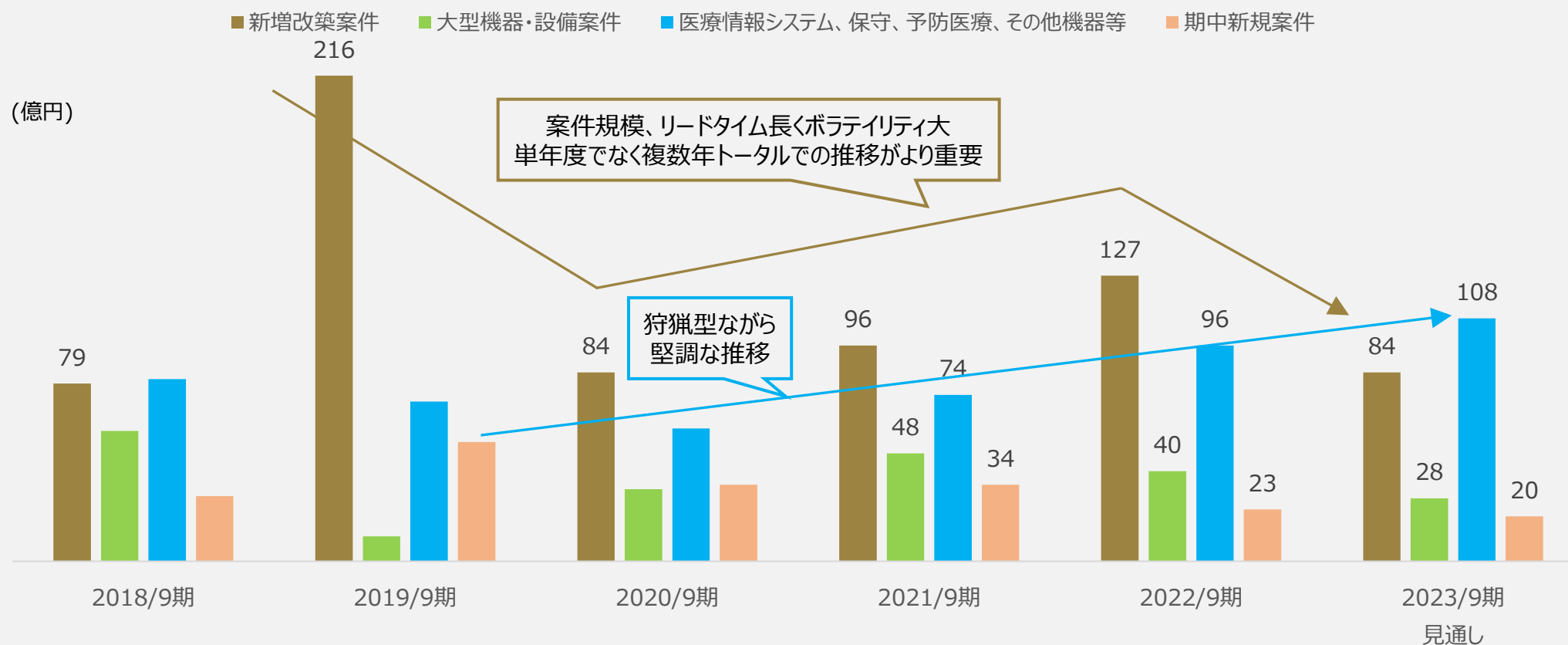
前回調整  
局面



# メディカルトータルソリューション事業売上内訳推移

- 主力のメディカルトータルソリューション事業に関しても、従来見通しを据置き。注力する医療情報システム/保守/予防医療などIT展開イニシアティブを担う領域の売上は過去最高の100億円超を計画
- 一方、3年周期にある新增改築案件の売上は端境期から100億円未滿と調整する見通し

## メディカルトータルソリューション事業売上内訳





## 2023年9月期通期業績予想前提

- 2023/9期の新增改築案件数は17件を想定。前期比5件の増加を見込む
- ただし、その内訳は10億円未満の中小規模案件がその主体となる見通し。20億円以上の大型案件は1件にとどまり、案件当たり単価は63%の下落を想定。前4Qから始まった案件端境期は、当期いっぱい継続するとの保守的な前提を置く

### メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売の推移

(百万円)		2020/9期	2021/9期	2022/9期	2023/9期 見通し	前期対比
20億円以上	売上高	2,562	4,739	9,877	2,271	▲7,606
	件数	1	2	3	1	▲2
	平均単価	2,562	2,369	3,292	2,271	▲1,021
10億円以上	売上高	2,954	1,476	3,995	2,080	▲1,916
	件数	2	1	3	2	▲1
	平均単価	1,477	1,476	1,332	1,040	▲292
10億円未満	売上高	2,928	3,395	2,180	4,007	+1,827
	件数	10	11	6	14	+8
	平均単価	292	308	363	286	▲77
合計	売上高	8,445	9,611	16,054	8,359	▲7,694
	件数	13	14	12	17	+5
	平均単価	650	686	1,338	492	▲846
事業売上に占める一括販売比率		40.3%	38.1%	56.0%	34.9%	▲21.9pt

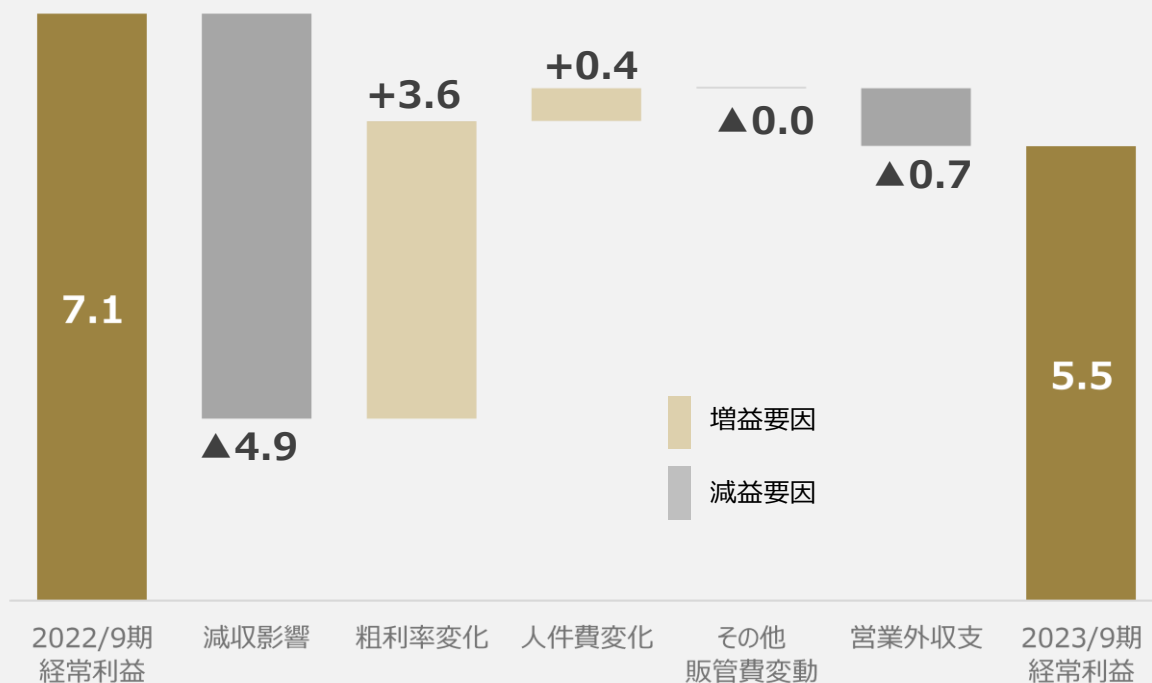


## 2023年9月期想定増減益分析

- 減益となる主たる要因は、受注端境期による売上の減少。深掘営業の追求によって粗利率の改善などはプラス要因として寄与するものの、マイナス要因の吸収には至らない見通し
- コスト面では従業員数の増加はあるものの、業績連動賞与は保守的に織り込み、人件費トータルでは若干の減少を想定。一方、営業外収支では前期に雑収入に計上した保険解約返戻金は発生しない見通し

### 経常利益増減益分析

(億円)



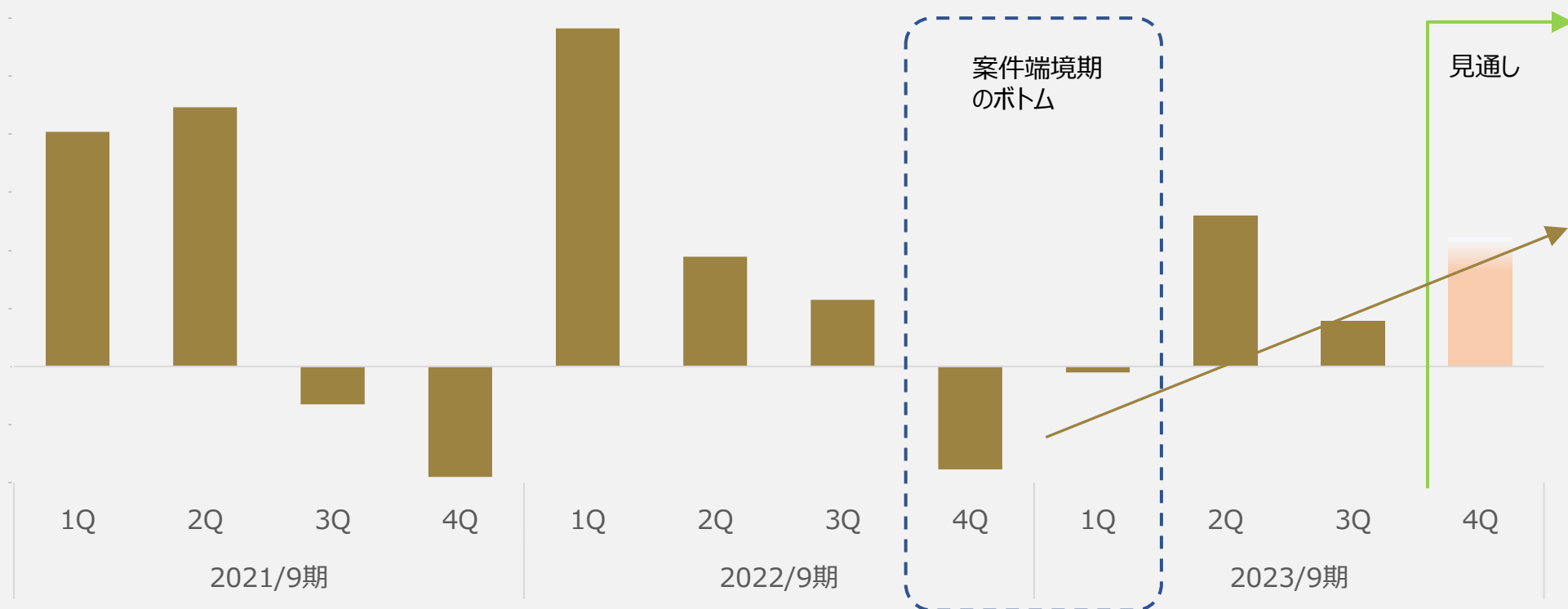
- 減収影響 ▲4.9億円
  - ・メディカルトータルソリューション事業の減収が影響
  - ・ただし、ストック的ビジネスの積上げは着実に伸長
- 粗利率変化 +3.6億円
  - ・前期にあった戦略的意図による一部低採算案件の影響が消失
  - ・深掘営業追求に伴う付加価値増を想定
  - ・ストック的ビジネス増による構成変化
- 営業外収支変動 ▲0.7億円
  - ・保険料収入 ▲0.5億円



## 2023年9月期四半期別経常利益想定

- 3Q会計期間においても経常黒字を計上し、案件計上端境期のボトムからの離脱を確認。ただし、3Q経常利益は2Qに今期の案件計上が集中した反動から、対2Q比では一旦減少
- 4Qは再度利益増加の見通し。ただし、需要拡大ピッチの加速にはまだ至らず、2023/9期は総じて調整局面との見方に変更なし

四半期別経常利益の推移





3

# トピックス





# トピックス

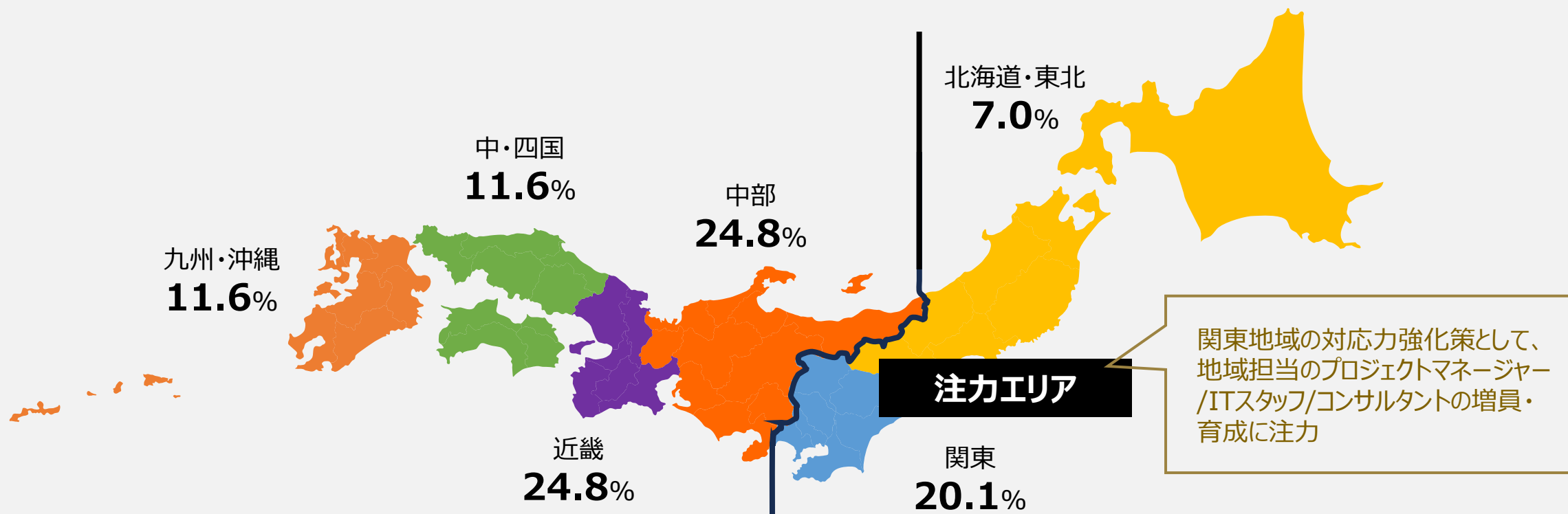
- 1 新增改築案件における今後の注力エリア**
- 2 メディカルトータルソリューション事業強化準備の進捗**
- 3 人材育成の加速**



## トピックス 1 : 新增改築案件における今後の注力エリア

- 過去10期における新增改築案件の受注件数は、元々の営業地盤である近畿・中部がほぼ半数を占める
- 一方、関東・北海道東北のシェアは相対的に低位。特に関東は病院数の多さに比して受注獲得件数は限定的
- 今後の新增改築案件増に向けては、病院数の多い関東エリアの顧客獲得に注力すべく、対応能力の増強を急ぐ

直近10年の新增改築受注件数の地域別シェア





## トピックス2：メディカルトータルソリューション事業強化準備の進捗

医療情報システム/保守/予防医療/その他機器など

機器保守メンテナンス売上

IT展開イニシアティブ関連売上

2023/10～  
保守サポート営業の補強

これまで：

保守需要への営業は新增改築案件獲得のサブ的位置づけで対応

しかし…

- ① 医療機器の高額化に伴い、保守メンテ需要は着実に拡大
- ② 顧客への営業窓口には拡がりなく、潜在需要の取込みに弱点

これから：

新增改築の予定のまだない病院にもアクセスし、潜在的な保守需要の発掘に注力

2023/9期  
売上見通し  
**108**億円

医療情報支援システム領域で期待される成長製品群

2023/9期2Q決算補足資料トピックスで紹介済

BEAR-D2

診療情報入力支援アプリ

- ✓ スマートデバイスを使用
- ✓ 患者と病院職員の双方にメリット
- ✓ 問診票活用医療情報に関する調査研究で東京医科歯科大学と連携



MIND PACS

放射線画像の管理・運営システム

- ✓ データの一括管理により、病院のフィルムレスを実現
- ✓ シンプルで高い操作性
- ✓ 画像に連動した所見作成機能

MIND Portal View System(MPVS)

電子カルテに付加価値を加えた関連システム

- ✓ 多種多様な形式のデータ保管が可能
- ✓ 電子カルテ端末との連携で患者情報を一括取得
- ✓ 他社システムとの連携対応も可能
- ✓ 次世代のデータアーカイブとして活用



## トピックス3：人材育成の加速

### 人材育成の加速に向けて

OJT機会のさらなる創出

- ✓ 関東顧客開拓への注力
- ✓ 保守サポート営業の補強など



次世代経営幹部  
の育成加速

**“企業の存続を見据える”**

- ✓ 執行役員制度の導入検討



営業人員  
の育成加速

**“コンサルティング力・技術力を活かす”**

- ✓ 狩猟型営業スタイルの理解促進
- ✓ 提案営業の徹底



プロジェクト  
マネージャー  
の育成加速



**“潜在市場を顕在化させる”**

- ✓ 関東圏顧客の開拓推進
- ✓ 新增改築案件への積極的な関与
- ✓ 若手人材の抜擢



# 業績・財務ハイライト

決算年月		2018年9月	2019年9月	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期 3Q
売上高	(千円)	25,715,941	36,109,029	21,996,890	26,347,156	29,767,431	16,674,201
経常利益	(千円)	652,381	1,184,035	207,244	595,939	709,660	328,335
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	357,645	732,959	120,839	390,983	437,051	195,182
包括利益	(千円)	396,399	735,628	141,111	427,266	467,209	219,239
資本金	(千円)	331,507	331,507	536,169	539,369	539,369	539,369
発行済株式総数(自己株式を含む)	(株)	1,784,000	1,784,000	1,954,400	1,960,800	1,960,800	1,960,800
純資産額	(千円)	3,682,163	4,340,511	4,817,569	5,159,691	5,537,971	5,648,975
総資産額	(千円)	12,875,910	12,814,634	13,414,303	12,964,840	13,468,183	13,268,689
1株当たり純資産額**	(円)	2,016.04	2,376.58	2,408.78	2,567.33	2,746.25	2,801.25
1株当たり配当額	(円)	40.0	40.0	45.0	40.0	50.0	-
1株当たり当期純利益**	(円)	323.64	411.31	62.51	199.92	222.90	99.55
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	(円)	-	-	61.85	198.33	221.52	99.09
自己資本比率	(%)	27.9	33.0	35.1	38.8	40.0	41.4
自己資本利益率	(%)	11.2	18.7	2.7	8.0	8.4	3.6
配当性向**	(%)	12.4	9.7	72.0	20.0	22.4	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	962,625	2,764,536	▲1,906,273	1,298,076	242,357	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲52,847	▲91,784	▲63,598	▲42,129	▲49,958	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	203,275	▲213,022	238,372	▲298,007	▲120,931	-
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	3,702,552	6,162,281	4,430,782	5,388,721	5,460,189	5,697,184
従業員数	(人)	153	155	157	162	175	176
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	(38)	(39)	(54)	(58)	(62)	(62)

\*通期換算ベース \*\*2018年9月13日付株式分割(1:200)後の発行済み株式数基準



## ご留意事項

当資料は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、当資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動によって、記載の業績予想等と異なる結果になる可能性があります。実際に投資を行う際のご決定は、必ず投資家ご自身の判断に基づきなされるようお願いいたします。

株式会社レオクラン  
経営企画室 IR担当  
TEL : 06-6387-1554  
Email : ir-support@leoclan.co.jp